

秋田の秘密

—その3—

1 はじめに

「秋田の秘密」の一つは、話型を身に付けて考えを表現していることです。よく読むと、「あれっ？ ハンドサインは本校もやっているじゃないか。」と気が付きます。

15 **くらし 教育** 12版 2014年(平成26年)6月25日(水曜日)

秋田県では、児童の意見交換で課題を解決する小学校の授業スタイルを中学校でも引き継ぎ、「全国学力・学習状況調査」(全国学力テスト)でトップクラスの成績を収めてきた。ただ、「学年が進むにつれ、授業中の発言が消極的になる」県教委傾向があり、発言を促す独自の仕掛けをする中学校もある。

6月上旬、県北部、北秋田市立阿仁中学校の社会の授業で、小林陽介教諭(44)が2年生に「なぜ江戸幕府は長く続いたのか」と問いつけた。生徒の一人が「決まりや処分が厳しくなり、出過ぎた行動ができなくなったためです」と答えると、他の生徒が「似ていますが」「付け足しです」などと言いつつ、一斉に手を挙げた。その中の一人が「武家諸法度できたためだ」と



2 話型

「学年が進むにつれ、授業中の発言が消極的になる。」というのは、経験してきていることです。伝え合う活動がうまくいかなくなるのも高学年が多いです。本校でもハンドサインを活用しており、秋田の同じようなことをやっています。ちがうところは、「賛成です。」と表示した後に、続かないことです。

秋田は、つなぎの話型を用意しているのです。「賛成ならば、その理由を述べる。」「よい点を述べる」など意見の言い方を示しているのです。意見がなくても、「わたしも〜だと思います。」と言えるのは、素晴らしいことではないでしょうか。これらは、本校の研究に取り入れられるのではないかと考えます。

3 話型は考えを表現する手段

講師の先生がおっしゃっていましたが、やはり話型は考えを表現する手段です。自分の言葉で語れるようになってほしいとは、常日頃から言っておく必要があります。

児童が型にはまりすぎないように歯止めをかけておかななくてはなりません。



「話型」身に付けて考え表現

No.1939 **教育ルネサンス** 秋田の秘密 3

「話型」を生徒に徹底している。同校では、発表する際の具体的な言い方を示した12種類の「話型」を生徒に徹底している。「賛成です」「他にもあります」「別の意見です」など自らの立場を明らかにしながら挙手し、そのうえで、意見を述べる。賛成や反対の場合は理由を説明しながら、自分の考えを言う。教室には話型を記した表を、天井からつるしている。

2年の吉田早良さん(13)は「話型を使うと発言がしやすく、友だちの意見もきちんと聞く。いろいろな発言があって、授業が楽しい」と話した。昨年12月

挙手時	発表時
賛成です ○○さんの意見に賛成です。理由は、～だからです。 ○○さんの考えは、□□の点でよいと思います。	の全校生徒へのアンケート調査では、95%が話型について、「友だちの考えがよくわかる」などと評価した。
他にもあります ○○さんと(少し)ちがって～です。	
別の意見です 私は～だと思います。理由は～だからです。	
提案です (○○さんの考えをもとにすると、)□□という考えもいいのではないかと思います。	



小林教諭(左端)の質問に一斉に挙手する生徒たち(6月上旬、秋田県北秋田市立阿仁中で)

小学校では、挙手する際に手の形で自分の意見を表す「ハンドサイン」を導入しているところが多い。先に発言した児童と同じ場合は手をクレーの形にし、付け足したい時はチョキ、意見がある時はパーにするなど、そ

れぞれの学校にルールがある。簡単な話型を決めている学校もあり、教員に指名されると、「わたしも〜だと思います」などと活発に自分の考えを言う。

かつて小学校で勤務していた小林教諭は、中学校に異動後、生徒の発言が少なくなことに驚いた。そこで、中学生向けの話型を提案し、4年前から同校全体で取り組んでいる。

4月には新入生向けに話型のガイダンスを行い、2、3年生が模擬討論で手本を示す。テーマを設定し、全校生徒が輪になって、話型を使いながら意見を交換する会も開く。

小林教諭は「他者とかかわりて思考が深まることで、自分で判断し、意思決定する力が身につく。話型は考えを表現する手段。やがては自分の言葉で語れるようになってほしい」と話している。